



八雲町社協だより

共に助け合い、共に支え合う、安心して暮らせる
あたたかい福祉のまちづくりを目指して

平成24年度ボランティアスクール



平成二十五年二月十六日(土)シルバー
プラザにて、ボランティアスクールを開催
いたしました。

午前には八雲出身者でもあります、
NPO法人民族歌舞団「こぶし座」理事長
横井正人氏に講演していただきました。

横井さんは太鼓、三味線、篠笛、踊り、
獅子舞など数々の楽器や踊りを舞台で経験
し、裏方として照明、舞台監督も行ってい
るそうので、楽器の説明や魅力、歌や経験し
たこと、活動を通じてのボランティアとの
関わりなどを講演していただき、後半には
歌も披露していただき、全員参加で手遊び
もしました。

皆さん歌いながら笑いながらと楽しく講
演を聞くことができました。

午後の部には、八雲町内でも活動されて
いるさわやかストレッチ代表宮谷弘子氏の
指導のもとストレッチ体操を行いました。

ボランティア活動にはまず自分の身体の
健康づくりをテーマとし、普段使っている
筋肉を和らげる体操や呼吸法などを行って
いただきました。

ストレッチを根気よく続けることにより、
ケガのしづらい身体が作られる。

改めて、ストレッチの大切さを感じるこ
とのできる講習でした。

平成25年3月26日評議員会が開催され、新2期地域福祉実践計画及び平成25年度事業計画・予算が承認されましたので、その概要についてお知らせいたします

八雲町社会福祉協議会 新2期地域福祉実践計画概要

◎新2期地域福祉実践計画策定経過

八雲町社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と位置付けられており、地域の福祉活動の中核的役割が求められています。

このことから、今後の社会福祉協議会が果たすべき必要な事業や組織基盤等のあり方について、その道筋を確かなものにすべく、平成24年7月から計画策定委員会を設置し協議を重ね「新2期地域福祉実践計画」を策定したものです。

◎基本目標 『ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり』

◎計画の大綱

基本目標	実践課題	
	主な取り組み	具体的な施策
1. 住民参加・協働による福祉活動の促進 ～地域みんなで取り組むこと～	1. 住民参加、地域福祉への理解・意識の醸成	①地域福祉実践計画の周知・広報 ②福祉教育の推進 ③ともに支え合う地域づくりの推進 ④ニーズの把握
	2. 小地域福祉活動の推進	①高齢者等見守り活動の推進 ②ふれあい事業の推進
2. 地域に根ざした福祉活動の充実 ～社協が支援すること～	1. 地域福祉活動への支援	①各種福祉団体への支援 ②福祉基金を活用した事業の実施
	2. ボランティア活動の推進	①ボランティア団体の育成支援 ②ボランティア養成 ③ボランティアセンターの機能強化
	3. 相談・生活支援活動の推進	①総合相談体制の推進 ②生活支援事業の推進
3. 安心して利用できる福祉サービスの実現 ～福祉サービスとして社協が取り組むこと～	1. 福祉情報提供の充実	①各種広報活動の展開
	2. 自立生活の支援	①資金の貸付 ②日常生活自立支援
	3. 在宅福祉サービスの推進	①町受託事業の実施 ②新たなサービスの展開
	4. 介護保険事業等の推進	①介護保険事業所の運営 ②障害者自立支援事業所の運営 ③サービス供給体制の充実
4. 地域福祉推進のための社協組織運営体制の強化 ～社協内部で取り組むこと～	1. 理事会・評議員会	①地域に根ざした役員体制の確保
	2. 安定的財源の確保	①会員の加入促進 ②財源の確保 ③健全経営
	3. 事務局運営体制の充実	①職員の資質向上、専門性の確保 ②適切な人事・労務管理 ③地域福祉実践計画の進行管理
	4. 他社協との連携	①災害救援活動の相互支援 ②道内社協との連携促進

平成25年度 八雲町社会福祉協議会事業計画

基本目標

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを使命とする社協は、これまで一貫して、地域住民・行政・町内会・福祉施設・福祉団体・ボランティアなどと連携・協働し、各種福祉サービスや福祉への理解と関心を高める活動をつうじて、地域福祉の推進を図ってまいりました。

しかし、少子・高齢化の進行や生活様式の変化に伴って地域社会や家庭の様相は大きく変容し、さらに長引く景気低迷などにより地域の生活課題は多様化してきています。

こうした社会情勢の変化に対応していくためには、より一層、事業や活動の強化を図っていくことが重要となっています。そのためにも、本年度から始まる「新2期地域福祉実践計画」を社協運営の柱とし、関係する皆様方のご協力をいただき、共に手を携えながら地域に根ざした福祉のまちづくりを目指し、事業の着実な推進に努めてまいります。

昨年度、先行モデル事業として取り組んだ日常生活自立支援事業は少しずつ認知されてきており、本年度は北海道社会福祉協議会からの委託事業として関係者と協議しながら実施してまいります。

また、地域福祉推進の中核的な組織として、役職員一丸となつて、様々な地域福祉の課題に向き合い「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」の理念のもと次に掲げる重点推進事項に取り組んでまいります。

在宅福祉サービス事業は町からの受託事業が中心となりますが、事業実施にあたっては適正な遂行に努めてまいります。

社協が経営している介護保険事業所（八雲デイサービスセンター・くまいし訪問介護事業所・社協指定居宅介護支援事業所）の運営については、各事業計画のとおりであり、引き続きその役割を果たしながら健全経営に努めてまいります。

重点推進事項

(1)地域福祉実践計画の推進

新2期地域福祉実践計画の推進については、理事会に地域福祉実践計画推進委員会を設置し、進行管理や評価・見直しを絶えず行い、また、関係団体等との意見交換や相互協力を図りながら、具体的施策に計画している事業等の着実な実施を図ってまいります。

(2)地域福祉、在宅福祉活動の推進

地域福祉・在宅福祉活動の推進にあたっては、地域住民やあらゆる団体・組織と連携・協働して地域の福祉課題を把握し、その解決にむけた取り組みを計画的、総合的に行ってまいります。

町内会等が行っている安心ほっとネット活動やふれあいサロンの取り組みについては、社協としても各種事業や活動を生かしながら協働・支援するとともに、八雲地域でのふれあいサロンの開設について関係者と検討してまいります。

また、ふれあい広場の開催及び福祉機器貸付についても引き続き取り組んでまいります。隔年実施の福祉懇談会は、ともに支え合う地域づくりの一層の推進が図られるよう有意義な内容づくりに努め開催してまいります。

利用者がその人らしい生活を支える在宅福祉活動

については、町からの受託事業が中心となりますが、思いやりや信頼を大切にした運営に心がけ、生活の質の向上とサービス充実に努めてまいります。

(3)ボランティアセンターの運営とボランティア団体との連携

地域福祉活動を推進していくためには、ボランティアの協力が大切であります。そのため、ボランティアスクールや青少年福祉活動体験事業を引き続き実施するとともに、ボランティア情報誌の発行について検討してまいります。

また、各ボランティア団体との連携や支援にも一層取り組んでまいります。

多くの町民の善意の寄付により運営されており、愛情銀行は、ボランティア団体への運営助成や福祉基金への積立として活用されており、社協にとっては極めて大事な財源であります。多くの人々に愛情銀行の役割を伝え実績が上がるよう努力してまいります。

(4)介護保険事業所の健全経営

介護保険法等に基づく通所介護・訪問介護・居宅支援の各事業所の運営にあたっては、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、サービス供給体制の充実に一層意を配してまいります。

八雲町社協だより

また、事業所の広報活動にも意を配りながら利用者確保を図り、安定した経営が出来るように努めてまいります。

なお、日本財団等への助成要望や備品購入積立金を取崩して、通所介護事業用及び訪問介護事業用の車両更新をしております。

(5)生活一時金・生活福祉資金の貸付事業の実施

本貸付事業は、低所得者や経済的困窮者への支援として、生活一時金は社協単独、生活福祉資金は北海道社協で実施しております。

今後も、行政や関係者と連携を図り継続的な相談支援活動に努めてまいります。

(6)町からの受託事業の実施

町からの受託事業は次のとおりであり、事業の実施に当たっては、その目的が達成されるよう円滑に遂行してまいります。

- ①八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ管理業務
- ②寝たきり高齢者等移送サービス事業（八雲・熊石地域）
- ③高齢者等給食サービス支援事業（八雲地域）
- ④緊急通報体制整備事業（八雲・熊石地域）
- ⑤生きがいデイサービス運営事業（八雲地域）
- ⑥要介護認定訪問調査業務（八雲地域）
- ⑦介護予防サービス計画作成業務（八雲地域）
- ⑧高齢者生活指導員派遣事業（熊石地域）
- ⑨独り暮らし高齢者訪問事業（熊石地域）

(7)相談・権利擁護事業

住民に寄り添い、孤立させないための取り組みの一つに心配ごと相談があります。相談を受ける際は、個人を尊重し目指すところは自立だという視点を忘れずに対応してまいります。

また、各種事業や活動を通じ、住民の悩みごとなどに速やかに応じ適切な助言・援助等を行ってまいります。

日常生活を営むのに支障がある方の金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）は、本年度から北海道社会福祉協議会との委託契約による業務となりますが、生活支援員とともに利用者の自立支援に取り組んでまいります。

(8)財源の確保と財政の確立

八雲町社協は、町からの補助金・委託金、介護事業に伴う介護報酬、愛情銀行への寄付金、そして、地域の協力を得ての自主財源であります個人会費・賛助会費・特別会費及び共同募金助成金など多様な財源により運営されています。

長引く景気低迷や事業所の閉鎖などにより、その

確保は年々厳しい状況にあります。新たな自主財源確保についての検討を行うなど、役職員一丸となって財源確保に努めてまいります。

①会費納入について

自主財源の中で、大きなウエートを占める会費については、引き続き町民みなさんのご理解を得ながら個人会費の納入と賛助会員・特別会員の加入促進に向けて努力してまいります。

②共同募金運動への協力

住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉推進の取り組みを財源面で支える赤い羽根共同募金は、社協の重要な自主財源となっています。

そのため、八雲町共同募金委員会が実施する募金活動に対し、積極的に参加協力してまいります。

③基金・積立金について

社協には、資本金となる基本財産のほか、福祉基金・財政調整基金・人件費積立金・備品購入積立金・退職共済積立金があり、その適正管理に努めてまいります。

また、資金状況に応じ積み立てて行くとともに、目的に沿い有効活用を図ってまいります。

(9)社協組織運営の充実

①啓発・広報活動

「社協だより」「支所だより」を年4回発行し、各種事業や行事の周知を図り社協活動の啓発に努めてまいります。

また、ホームページを活用した広報活動も行っております。

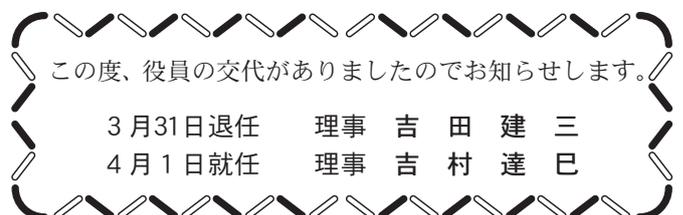
②組織運営の充実強化

評議員会・理事会・各委員会及び正副会長会議等を必要に応じ開催するほか、研修会への参加や情報収集、一層の組織体制の強化を図りながら、地域福祉を推進する団体としての役割・機能を果たし、地域に理解と信頼を得られる社協運営に努力してまいります。

また、法人本部・各介護保険事業所の財政基盤の確立に努めながら効率的な経営に努めるとともに、全面的に見直された社会福祉法人会計基準への移行に向けた準備も進めてまいります。

③地域間交流の促進

八雲・熊石両地域の交流については、今後も各種行事・事業等の参加交流をつうじ、一層交流促進が深まっていくように努めてまいります。



主 要 事 業

介護保険事業

- ①指定居宅介護支援事業(ケアマネジャー事業)
- ②指定通所介護事業並びに指定介護予防通所介護事業(デイサービス事業)
- ③指定熊石訪問介護事業並びに指定介護予防訪問介護事業(ヘルパー事業)
- ④指定くまいし居宅支援事業(障がい者ヘルパー事業)

自立生活支援事業

- ①生活福祉資金の貸付事業
- ②生活一時金小口資金の貸付事業
- ③日常生活自立支援事業

総合的な生活支援事業

- ①乳酸飲料無料宅配事業
- ②ふれあいひろば開催事業
- ③ベッド、車椅子等福祉機器の貸与事業
- ④福祉懇談会開催事業
- ⑤ボランティア育成支援事業

※受託事業を除く。

福祉団体支援事業

青少年健全育成・障がい者・高齢者等各福祉団体については、赤い羽根共同募金の助成金により、財政支援、運営育成指導事業等を推し進めます。

介護保険及び在宅福祉サービス事業情報提供

社協だよりの発行やホームページの運営を通して、介護保険事業及び在宅福祉サービス事業の情報提供を定期的に登載し、啓発してまいります。



平成25年度八雲町社会福祉協議会一般会計予算

(収入)

(支出)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
会 費 収 入	3,571	人 件 費	89,098
町 補 助 金	28,017	事 務 費	6,810
受 託 金 収 入	24,336	事 業 費	14,183
道 社 協 受 託 金	180	助 成 金 支 出	30
共同募金助成金収入	2,268	共同募金助成金	2,268
介護保険収入	54,313	会計単位間繰入金支出	488
自立支援費収入	107	経理区分間繰入金支出	699
雑 収 入	21	施 設 整 備 支 出	5,713
経理区分間繰入金収入	1,073	積立預金積立金支出	582
受取利息配当金収入	21	予 備 費	766
施設整備補助金	2,430		
積立預金取崩収入	2,996		
前期末支払資金残高	1,304		
合 計	120,637	合 計	120,637

特 別 会 計 予 算

(収入支出同額)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
ボランティアセンター	1,179	小口資金貸付事業	751
生活一時金貸付事業	1,701	生活福祉資金貸付事業	177

会費納入・全戸加入のお願い!

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。

社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い羽根共同募金の助成金、そしてボランティアセンター（愛情銀行）によせられた寄付金（浄財）、介護報酬等で賄われています。

主な使い道は、職員の人件費、介護保険事業、毎年開催するふれあい広場事業（敬老会）、在宅福祉事業（移送サービス事業、給食宅配事業、緊急通報システム設置事業等）、会報（社協だより）発行事業、各種福祉団体、青少年団体への助成事業等に使用されております。

お願いする会費は次のとおりです。

◎一般会費 五〇〇円

本年度もご理解賜わりご協力下さるようお願いするとともに、全戸加入下さるようご協力をお願いいたします。

◎賛助会費 一口三〇〇〇円

後日、社協役員がお伺いいたしますので、社協の地域福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるようお願いいたします。



社協職員の動き

この度、次のとおり異動がありましたのでお知らせいたします。

*平成25年3月31日付退職者

- 植 杉 俊 克（熊石支所）
- 石 川 美 子（八雲デイサービスセンター）
- 西 澤 直 美（くまいし訪問介護事業所）

*平成25年4月1日付採用

- 熊石支所長 田 畑 秀 哉（熊石支所）
- 看 護 師 足 立 貞 子（八雲デイサービスセンター）

～ よろしく願い申し上げます ～



高齢者ふれあい演芸会

熊石地域の 少しでも歳を重ねた高齢者が
自ら企画し 自ら参加して
自分も楽しく みんなも楽しい
ふれあい演芸会を企画しました。



第22回高齢者ふれあい演芸会は、2月16日に熊石青少年スポーツセンターにて開催されました。

当日は、この冬一番の降雪量だった日でしたが、悪天候にもかかわらず、熊石地域の高齢者の方々や八雲町老人クラブ連合会、相沼保育園、熊石保育園そして、スタッフ等総勢280名が会場に集まりみなさん楽しい一日を過ごしました。

来年もまた、お元気でお会いできることを約束して終了しました。

冬休み体験ボランティア



ふれあい訪問

ふれあい訪問は、ホームヘルパーと高齢者のお宅を訪問し、掃除や食事の用意、訪問先の方とお話しをしたりしました

平成24年度熊石地域中・高生の冬休み体験ボランティア事業が1月9日(水)～11日(金)の3日間で実施されました。

お正月明けのこの3日間は、雪が多く寒いばかりでしたが、熊石地域の中学生、高校生の皆さんに元気に参加していただきました。



くまいし荘
熊石デイサービスセンター

特別養護老人ホームくまいし荘と熊石デイサービスセンターでは、介護スタッフのお手伝いなどをしました。



保育園

相沼保育園では、園庭の雪山を園児が楽しく遊べるように滑り台にしたり、かまくらをつくりました。かまくらに入ったことのない園児も「あったか〜い」とうれしそうに話していました。

熊石保育園では、園児と一緒に遊びました。

大きいお兄さんやお姉さんでなければ、できない楽しい遊びを満喫しました。



保育園

皆さんの温かい善意のご寄付ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

平成24年12月16日～平成25年4月15日（順不同・敬称略）

一般寄付	○水野喜和子	宮園町	100,000円
	○木村美代	東町	20,000円
	○井口幸道	熊石平町	30,000円
	○八雲町保育者部会		50,681円
	○匿名		9,955円
物資寄付	○八雲ボランティア（平成10年度より継続）		タオル8枚
	○匿名		雑巾82枚

社協活動メモ

十二月

・仕事納めの式（十二月二十八日）

一月

・仕事始めの式（一月七日）

・八雲町身体障害者福祉協会新年会

・平成二十四年度渡島地区ボランティア連絡協議会第二回正副会長会議
渡島総合振興局

・平成二十四年度渡島地区ボランティア連絡協議会役員会並びに平成二十四年度第二回渡島地区ボランティア推進会議
渡島総合振興局

・第七回八雲町こどもかるた大会

・かつら共同作業所新年の集い

・熱田遊楽クラブ総会

・第3四半期定期監査

・八雲民謡会新年会

・第五回理事会

・第三回地域福祉実践計画策定委員会

・第三回八雲町共同募金委員会理事会

二月

・平成二十四年度渡島地区「地域に理解され支持される社協づくり研修」
七飯町 函館市

・平成二十四年度第二回渡島管内社協職員連絡協議会研修会

・平成二十五年度落部婦人ボランティア新年会

・平成二十四年度ボランティアアスクール

・第二十二回高齢者ふれあい演芸会

・第三回正副会長会議

・東野老人クラブ福寿会新年度総会

・第四回八雲町災害時要援護者避難支援プラン策定委員会

三月

・平成二十四年度八雲地区保護司候補者検討協議会
第六回理事会

・北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会

・平成二十四年度ボランティア活動研修・交流事業

・平成二十四年度北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議

・第二回評議員会

・退職辞令交付式

四月

・辞令交付式並びに年度始め式

・平成二十五年度八雲ボランティア総会

・平成二十五年度立岩羽衣会通常総会

八雲町社会福祉協議会 ホームページ

社協の概要や事業紹介、介護保険事業所、共同募金、ボランティアの情報の他、社協だよりも掲載しておりますので、是非ご高覧下さい。

アドレスは下記のとおりです。
<http://www.yakumo-syakyo.or.jp>



会報第二十九号 ◎八雲町社協だより◎

平成二十五年五月一日発行

二海郡八雲町栄町十三一

社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 0137-64-2112
FAX 0137-63-2160

赤い羽根共同募金の助成金は、八雲町社協だよりの発行にも役立てています。